

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	須田恭平
学籍番号	1018097
クラス	C
配属時における学習目標は何でしたか。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	プロジェクト全体の進め方として、方針を全員で議論を進めていくと同時に書記として記録を取りました。議事録の作成をすることにより、なるべくわかりやすい文章で書くなどの工夫を行いました。これにより報告書の作成にも少なからず役に立つと考えています。また、複数人で行う共同作業と学生や教員とのコミュニケーションを円滑に進めるために Zoom や Discord を用いて通話を行いながら作業を進めました。これにより、疑問点の解消や議論をスムーズに進めることができました。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
（9 の質問で学習目標が変化した学生） 学習目標が変わった理由は何ですか？（200 文字以上）	

<p>後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)</p>	<p>前期の学習目標において学生同士・教員とのコミュニケーションが達成できていません。対面で話し合いを行うことに比べると、現在のオンライン会議は話しにくく議論が活発になっていないように感じます。今後の方針を決めるのにも多くの時間を費やしました。自分も含めプロジェクト全員が意見を出しやすい状況にする必要があると考えます。また、グループごとの話し合いにおいても前期は積極的に参加できていなかったため後期では疑問点や案などを積極的に共有します。</p>
<p>前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200 文字以上)</p>	<p>前期の活動においてはプロジェクトリーダーがメインとなって物事を進めていました。しかし、他のメンバーからの意見が出ずにプロジェクトリーダーの意見をそのまま反映させることもありました。この意見が全体の意見として一致しているのであればよいのですが、もし意見が出しにくい環境であるのなら、もう少し話しやすい雰囲気をプロジェクト全員で作っていく必要があるとも感じました。このプロジェクトの目的に応じたグループ分けや全体の方針はよく議論が行われ、現状ではうまく進んでいると思います。</p>